

件名：マリへの渡航に関する注意喚起情報について

内容：【在セネガル日本国大使館からのお知らせ】

11日、日本外務省はマリの中部モプチ州セバレにおけるテロ事件の発生に伴い、注意喚起情報を発出していますので、ご参考までに周知いたします。

マリ：中部モプチ州セバレにおけるテロ事件の発生に伴う注意喚起
2015年08月11日

1 8月7日朝（現地時間）、中部モプチ州セバレにおいて、国連マリ多面的統合安定化ミッション（MINUSMA）及びマリ軍の関係者が利用していたホテルを武装集団が襲撃し、複数の外国人を人質にとって立てこもる事件が発生しました。翌8日朝、マリ特殊部隊による人質救出作戦が実施され、それまで残されていた人質4人（南アフリカ人1人、ロシア人1人、ウクライナ人2人）が救出されました（犯人側4人が死亡）。

現在、事件の詳細についてはマリ治安当局が捜査中ですが、マリ政府によれば、今回の事件で9人（外国人4人を含む）が犠牲となった模様です。現時点で背景は不明ですが、イスラム過激派組織「アル・ムラービトゥーン」が犯行声明を発出したとも報じられています。

2 最近マリ北部及び中部を中心に、イスラム過激派組織が関与すると思われる襲撃事件が多く発生しています（7月7日付スポット情報「マリ：政府関連施設等への襲撃事件の発生に伴う注意喚起」参照）。8月に入っても、1日及び3日、「マグレブ諸国のアルカイダ（AQIM）」等によるマリ軍に対する襲撃事件が発生しました。

3 上記の各地域を含め、マリでは一部の地域を除いて、「退避を勧告します。渡航は延期してください。」又は「渡航の延期をお勧めします。」との危険情報が発出されていますので、これらの地域にはいかなる理由でも渡航しないでください。また、それ以外の地域に渡航・滞在予定の方や滞在中の方は、上記の治安情勢に十分留意し、不測の事態に巻き込まれることのないよう最新の治安情報の入手に努めるとともに、必要な安全対策を講じてください。特にテロや襲撃の標的となりやすい場所（政府・軍・警察関係施設、ナイトクラブ、バーなど不特定多数が集まる場所）は可能な限り避け、やむなく訪れる際には、周囲の状況に注意を払い、不審な状況を察知したら、速やかにその場を離れるなど安全確保に十分注意してください。

本件問い合わせ先

taishikan.senegal@dk.mofa.go.jp

領事

在セネガル日本国大使館

Ambassade du Japon au Senegal

Boulevard Martin Luther King

(B. P. 3140) Dakar, SENEGAL

Tel+221-33-849-5500, Fax+221-33-849-5555
